

心理

浜児童相談所 相談判定課
令和6年度採用

わたしを表すKEYWORD

音楽

音楽を聴くことが好きで、休日はライブに行ったりもしています。仕事で疲れた時に音楽を聴いて、元気チャージしています。

いわき巡り

会津出身ということもあり、今の職場に配属になるまでほとんどいわきに来たことがありませんでした。休日はいわき巡りをして、浜通りの美味しい食べ物に出会うことが楽しみの一つです！



笑顔

お肉

読書

私は

人を笑顔にすること

が好き！



子どもたちが笑顔で暮らせる 福島をつくる

児童相談所は18歳未満の子どもに関するあらゆる相談を受け付けています。私は心理判定員として、主に子どもとの面接や心理検査などを行っています。子どもの強みやできていることに注目して面接を行い、安心して生活できるように一緒に考える仕事をしています。面接後に子どもの笑顔やホッとした表情を見ると、私自身も嬉しい気持ちになります。



県職員を目指した理由

大学や大学院で心理学を学ぶ中で、自ら相談したりSOSを出せない家庭や子どもがいることを知りました。心理職としてそのような家庭や子どもの支援に携わることによって、福島県の子どもたちの笑顔が増えたらいいなと思い、福島県職員を志望しました。

職場の雰囲気について

同期を含め、年齢の近い職員の方も多いため、和気あいあいとしていて笑顔の多い職場です。相談にのったり面接をしているときは真剣な表情ですが、休憩中などは笑顔が多く、メリハリのある先輩たちばかりです。先輩職員に質問すると優しく丁寧に教えてくれるので、いつでも相談しやすい雰囲気があります。

とある一日のスケジュール

- 8:30 始業
- 9:30 保護児童との面接・心理検査
- 11:00 検査所見の作成
- 12:00 昼休み
- 13:00 家庭訪問
- 15:00 記録の整理
- 16:00 来所児童との面接
- 17:15 終業

新採用職員研修の感想



入庁後、必要な知識を身に付けたり仕事を覚えたりできるが不安でしたが、研修の機会が多く、日々新しい知識を取り入れながら仕事に取り組むことができます。私は技術職なのでより専門性が求められており、研修等が充実していることで自分の成長だけでなく、住民の方によりよいサービスを提供することにも繋がっていると思います。

受験者へのメッセージ

対人援助職は明確な答えのない仕事で、日々悩むことも多いですが、いろいろな人と関わる中で多様な考え方や新しい視点に気づく機会がたくさんあります。

日々新たな気づきを得ることのできるやりがいのある仕事です。



福島県職員として実現したいこと、目標としていること

子どもたち一人一人の個性や強みを活かしていけるような支援者になりたいです。

未来を担う子どもたちに「福島っていいところだな」と思ってもらえるように、相談者の声に寄り添いながら仕事を進めていきたいと思っています。